

**全国発信記事** ▲▽▲▽ 北陸支部

**「第58金剛丸」小木港からアカイカ漁に出漁！**

— 日本海（大和堆）のスルメイカの不漁を見越し、北太平洋へ —

石川県漁業協同組合小木支所所属の中型イカ釣り船「第58金剛丸」（187総トン）が、5月12日午後5時、北太平洋でのアカイカ操業に向け、大勢の家族や漁業関係者らに見送られ石川県の小木港から出港した

今年ロシア海域でのスルメイカ漁を行えない可能性を懸念し、燃料油価格高騰の中、3千キロ以上離れた漁場に活路を求め出漁した。アカイカ漁への出漁は、外国船の違法操業で能登半島沖の好漁場である「大和堆」をはじめとする日本海でのスルメイカの不漁を受け、昨年に続き3年連続の出漁。今回の出漁も新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、技能実習生が来日できずに人員不足となることを危惧していたが、外国人の出入国緩和により、技能実習生の入国が間に合い、無事に出港することができた。

「大和堆」周辺における外国漁船の違法操業などにより、スルメイカ資源が減少し水揚げ量も減少傾向にあるが、北太平洋のアカイカ操業は昨今のスルメイカの不漁を埋める重要な活路でもあり、今季のアカイカの豊漁が期待される。

「第58金剛丸」は函館港に寄港し、燃油を積込んだ後、北太平洋の漁場に向かい、アカイカ漁の漁期終了後は、日本海でのスルメイカ漁に切り替える予定。

「海員だより」